

目次

はじめに

第一章 制度改革期 大正九年〜同十一年

第一節 大正九年

大正九年度東京美術学校年報

『東京美術学校校友会月報』記事抜粋（東京美術学校近事）

関連事項①彫刻教育改革へ向けて②白井雨山

辞職③建昌大夢の教授就任④日本画

科生徒の要求⑤製版科、臨時写真科

彫刻科牙彫部の生徒募集停止⑥文部

省在外研究員⑦古宇田実の留学⑧神

矢教親の留学、転任⑨伊東亮次の留

学⑩フェノロサ記念碑建立⑪依嘱製

作に関する文書⑫皇室行事関係の依

嘱製作⑬大村西崖『密教発達志』の

帝国学士院賞受賞⑭校友会文芸部発

足⑮四十年社⑯工芸史研究室⑰帝展

工芸部門設置運動の開始⑱『命ある

野の草』の出版⑲補遺・帝國美術院

創設と本校

第二節 大正十年

大正十年度東京美術学校年報

『東京美術学校校友会月報』記事抜粋（東京美術学校近事）

関連事項①女子部開設要請②矢代幸雄の在外

研究③長谷川路可の留学④戸部隆吉

死去⑤皇后行啓⑥『南都七大寺大

鏡』⑦関野聖雲の起用と畑正吉の教

授昇格⑧朝倉文夫、北村西望の起用

と教室制⑨塑造研究会⑩曠原社⑪晨

光会と新興大和絵会⑫日本画科生徒

の帝展出品制限⑬美校時代、晨光会

のことなど（日下八光）⑭大村西崖

と中国⑮『東京美術学校校友会月

報』第二十卷記念号

第三節 大正十一年

大正十一年度東京美術学校年報

『東京美術学校校友会月報』記事抜粋（東京

美術学校近事)

- 関連事項①田辺至の在外研究②中村勝治郎の死去③黒田清輝の帝国美術院長就任
- ④『東京美術学校修学旅行近畿古美術案内』と修学旅行⑤鈴木清の起用

第二章 制度確立期 大正十二年〜昭和十五年

第一節 大正十二年

- 大正十二年度東京美術学校年報
- 『東京美術学校校友会月報』記事抜粋(東京美術学校近事)

- 関連事項①東京美術学校規程・規則改正②独立当初の建築科(山脇巖、平松義彦、海老原一郎)③職員一覧④結城素明の在外研究⑤古画模写事業と模本展覧会⑥関東大震災⑦ロダン作「青銅時代」 「バルザック」石膏像の寄贈とデルスニス⑧彫刻科塑造部教室制廃止⑨競技⑩現代の図案工芸社主催 第一回工芸展

第二節 大正十三年

- 大正十三年度東京美術学校年報
- 『東京美術学校校友会月報』記事抜粋(東京

- ⑥東京高等工芸学校開校・製版科廃止⑦工芸部生徒成績展覧会⑧津田信夫の在外研究⑨日仏交換美術展覧会⑩帝展第四部開設への動き

美術学校近事)

- 関連事項①外国学生特別入学規程細則②外国人留学生③板垣鷹穂の在外研究④鎌倉芳太郎の琉球美術研究⑤三木栄川の奨学金寄付⑥黒田清輝の死去⑦田辺孝次の在外研究⑧正木直彦校長の支那旅行⑨震災前後の図案科(上田幹一)⑩三浦秀之助の『闇婆仏蹟ボロブヅール』⑪推古会

第三節 大正十四年

- 大正十四年度東京美術学校年報
- 『東京美術学校校友会月報』記事抜粋(東京美術学校近事)

- 関連事項①森田亀之助の在外研究②軍事教練開始③科外講義④森芳太郎の在外研究⑤西洋画科教室制に関する記録⑥

教科書⑦中国古美術保存調査会設置
計画⑧東台邦画会⑨大正末期の漆工
科の授業(磯矢陽)⑩工芸済々会

第四節 大正十五・昭和元年……………三九

大正十五・昭和元年度東京美術学校年報

『東京美術学校校友会月報』記事抜粹(東京美術学校近事)

関連事項①写真科廃止、移管②西田正秋の起用③高村光雲の退官および名誉教授推戴④高村豊周の起用⑤田中豊蔵の起用⑥正木直彦校長の勲章受領⑦各科授業要旨の改正⑧斎藤佳三の凶案科改革意見⑨公開講座の開設⑩郊外写生、郊外教授等⑪依囑製作舞臺置物⑫美術史研究会⑬『文玩叢誌』⑭『丹青指南』⑮東京府美術館開館⑯日本工芸美術会の創立⑰東方絵画協会

第五節 昭和二年……………三三

昭和二年度東京美術学校年報

『東京美術学校校友会月報』記事抜粹(東京美術学校近事)

関連事項①入学試験科目の修正②『髹飾録』の頒布③大村西崖の死去④石田英一

の在外研究⑤矢代幸雄の欧米出張⑥松田権六の起用⑦黒田記念館起工式⑧无型と工人社

第六節 昭和三年……………三五

昭和三年度東京美術学校年報

『東京美術学校校友会月報』記事抜粹(東京美術学校近事)

関連事項①白浜徹の死去と図画師範科②図画師範科回想(松田義之)③高村光雲喜寿祝宴、木彫科への寄附金④学生思想問題およびプロレタリア美術運動⑤校友会の近代芸術研究部⑥女子生徒(ラギー・ゾルフ)⑦即位御剣装飾製作⑧新たに校旗を作る⑨六角紫水の染浪漆器研究⑩唐宋元明名画展覧会⑪工芸指導所の設置

第七節 昭和四年……………四〇

昭和四年度東京美術学校年報

『東京美術学校校友会月報』記事抜粹(東京美術学校近事)

関連事項①生徒主事②陳列館③和田季雄の在外研究、パリ滞在の卒業生たち④巴厘日本美術展覧会⑤青山新の海外旅行⑥斎藤佳三の中国派遣⑦昭和初期

の鑄造科（清水巖）⑧『美術研究』
⑨白浜徹追悼講演会⑩図画手工夏季
講習会⑪白井雨山銅像除幕式

第八節 昭和五年…………… 四二

昭和五年度東京美術学校年報

『東京美術学校校友会月報』記事抜粋（学校
近事）

関連事項①水谷武彦の帰国②岡田三郎助の渡
欧③今和次郎の渡欧④ローマの日本
美術展覧会と松岡映丘の渡欧⑤矢代
幸雄の欧米出張⑥長原孝太郎の死去
⑦下村観山の死去⑧竹内久一銅像除
幕式⑨依嘱製作に関する規程の改正
⑩帝国議会議事堂装飾の依嘱製作⑪
文部省図画講習会⑫帝国美術院附属
美術研究所⑬美校回想——ドモアの
死——（山崎坤象）⑭靖国神社の釣
灯笼の製作⑮无型の活動とその影響

第九節 昭和六年…………… 四三

昭和六年度東京美術学校年報

『東京美術学校校友会月報』記事抜粋（学校
近事）

関連事項①正木直彦の渡支、日華古今名画展
覧会②校友会月報第三十巻記念号③

浄瑠璃寺吉祥天像の摸刻④磯矢陽の
採用⑤小堀鞆音の死去⑥正木直彦の
帝国美術院長就任⑦白浜徹銅像除幕
式⑧岡倉天心記念銅像除幕式⑨岡倉
由三郎を講師に採用⑩日本版画協会
設立と本校版画科設置運動⑪昭和初
期の彫金科⑫昭和初期の鍍金科（三
井安蘇夫）⑬昭和初期の漆工科

第十節 昭和七年…………… 五八

昭和七年度東京美術学校年報

『東京美術学校校友会月報』記事抜粋（学校
近事）

関連事項①平福百穂の教授就任②行政整理と
久米桂一郎、大島如雲、鈴川信一、
増井兼吉、合田清らの退官③正木直
彦の退官と赤間信義の校長事務取扱
就任④後任校長問題⑤和田英作の校
長就任・大観の攻撃⑥人事刷新⑦男
女共学実施計画⑧和田校長による改
革⑨海野清の在外研究⑩「天心岡倉
先生」の寄贈⑪学生思想取締り強化
⑫文庫の整備⑬川端玉章翁記念銅柱
の建立⑭黒田清輝胸像の除幕

第十一節 昭和八年…………… 三三

昭和八年度東京美術学校年報

『校友会会報』記事抜粋(学校記事)

関連事項①東京美術学校規程、規則改正②工

芸科の実技兼修制度③特待生制度廃

止④水谷鉄也の退官⑤高橋籌庵の起

用⑥石沢正男の起用⑦沼田一雅の退

官と加藤顕清の起用⑧校友会改革⑨

校歌、学生歌を作る⑩渋谷家より作

品寄贈⑪ラグーザの遺作および清原

玉の作品の寄贈

第十二節 昭和九年…………… 六六

昭和九年度東京美術学校年報

『校友会会報』記事抜粋(学校記事)

関連事項①清水南山の帝室技芸員任命と『金

工研鑽録』②西洋美術品の寄贈、石

膏室③『東京美術学校校友会月報』

の終刊と『校友会会報』の創刊④左

翼思想、風紀取締り強化

第十三節 昭和十年…………… 六五

昭和十年度東京美術学校年報

『校友会会報』記事抜粋(学校記事)

関連事項①「東京美術学校の現況」②臨時版

画研究室(教室)開設③依囑製作に

関する内規制定④富永惣一の起用⑤

矢代幸雄の海外出張⑥松岡映丘の辞

職⑦岡田三郎助、和田三造の外国出

張⑧帝国美術院改革の影響⑨正木記

念館設立と正木直彦寿像の寄贈⑩依

囑製作六曲屏風⑪杉田禾堂と大阪府

産業工芸博覧会⑫実在工芸美術会の

創立と生徒グループの展覧会

第十四節 昭和十一年…………… 七元

昭和十一年度東京美術学校年報

『校友会会報』記事抜粋(学校記事)

関連事項①和田英作校長の辞職・名誉教授の

称号贈与②芝田徹心校長就任③小林

万吾の海外旅行④和田三造の海外旅

行⑤羽下修三の海外出張⑥山崎覚太

郎の海外出張、在外研究⑦久米桂一

郎銅像除幕式

第十五節 昭和十二年…………… 七五

①職員その他②卒業式③昭和十二年

度入学者④各科学徒級別現員表⑤依

囑製作⑥新規矩男の再起用⑦藤島武

二の海外出張⑧津田信夫の海外出張

⑨田辺至の海外出張⑩和田三造の海

外出張⑪田辺孝次の海外出張⑫大峽

秀栄の起用⑬日中戦争開始とその影

響⑭日本画科生徒の意見⑮『東京美術』創刊⑯油画科卒業生の共同制作⑰寺崎広業銅像建立と奨学金寄附⑱シュプランガー来校⑲文化勲章制定⑳現代日本画名作展覧会㉑帝国芸術院設置・第一回新文展

第十六節 昭和十三年

①職員その他②卒業式③昭和十三年

④入学者⑤依

第十八節 昭和十五年

①昭和十五年度東京美術学校概要要

②職員その他③卒業式④昭和十五

第十七節 昭和十四年

①職員その他②卒業式③昭和十四年

④入学者⑤依

⑥入学者⑦依

嘱製作⑥川合玉堂の辞職・日本画科改革問題⑦集団勤労作業の始まり⑧ヒットラー・ユーゲント来校

師嘱託⑨山脇洋二の採用⑩岡田三郎助の死去⑪凶案部成績展示会⑫『クランク』発行停止⑬東京美術学校同窓会⑭教育振作⑮興亜青年勤労報国隊⑯臨時セメント教室開設⑰渡辺素舟の中国旅行

第三章 戦時下

昭和十六年～同二十年

六四

六五

第一節 昭和十六年

①職員動静②卒業式③昭和十六年度

④入学者⑤依

①職員動静②卒業式③昭和十六年度入学者④各科学徒級別現員表⑤繰上げ卒業式⑥依嘱製作⑦研究科修業年

六六

第二節 昭和十七年

限延長⑧事務官設置⑨事務分掌規程改正⑩修業年限臨時短縮⑪校友会解散・報国団結成⑫工芸技術講習所

六七

- ①職員動静②昭和十七年度生徒募集要項③昭和十七年度入学者④各科学徒級別現員表⑤繰上げ卒業式⑥依嘱製作⑦職員一覧⑧図画師範科の制度改革⑨「戦時学徒自戒」⑩研究科臨時規則⑪修業年限短縮⑫建島大夢死去⑬岡田三郎助記念像⑭西田正秋の海外出張⑮モデル事情⑯天心顕彰氣運と天心祭⑰配属将校への抵抗（伊藤豊）

第三節 昭和十八年…………… 六四

- ①昭和十八年学事曆②職員その他③昭和十八年度入学者④各科学徒級別現員表⑤繰上げ卒業式⑥依嘱製作⑦藤島武二の死去⑧各科主任の廃止⑨文庫委員規定制定⑩高等師範学校卒業者服務規則廃止⑪専門学校教育刷新と本校⑫教科書⑬仮卒業、仮修了⑭学徒出陣⑮日本美術及工芸統制

第四節 昭和十九年…………… 六五

- 協会⑯金属回収と本校の銅像⑰戦時下の学生生活（野見山曉治）

第五節 昭和二十年…………… 六五

- ①職員その他②卒業式省略③空襲下の入試、募集要項④昭和二十年度入学者⑤各科学徒級別現員表⑥終戦直後の卒業⑦概況(一)⑧概況(二)⑨終戦、戦争の爪跡⑩焼失作品⑪終戦前後の学生生活⑫戦後の出発⑬結城素明名誉教授となる

第四章 戦後復興期 昭和二十一年～同二十七年…………… 一〇五

第一節 昭和二十一年…………… 一〇七

- ①学事抜粹②職員動静③卒業式④現員表⑥卒業⑦学生生活⑧戦後第一

- 和二十一年度入学者⑤各科学徒級別現員表⑥卒業⑦学生生活⑧戦後第一

回生徒募集・男女共学⑨校友会の復活と芸術講座⑩高山夏期研究会⑪第一回芸術祭⑫文化講座⑬終戦前後の学生生活(白根光夫)⑭美校回想(岡田菊恵)⑮終戦直後の写真資料について

第二節 昭和二十二年 102

①学事抜粹②職員その他③規程、規則改正④その他の規則⑤昭和二十二年度生徒募集要項⑥入学許可者心得⑦始業、終業時間⑧入学志願者、合格者⑨工芸科の実習⑩東京美術学校文庫規則⑪本校の機構⑫土地および建物⑬卒業(三月)⑭昭和二十二年入学者⑮各科学徒級別現員表⑯卒業(九月)⑰研究科廃止⑱学校の現状⑲構内居住者⑳大学昇格問題㉑石井教室事件㉒天竜峽に分校設立計画
㉓鶴ヶ島農場

第三節 昭和二十三年 105

①学事抜粹②職員その他③卒業(三

月)④卒業(延期)⑤卒業(九月)⑥各科学徒級別現員表⑦生徒募集停止⑧校内雑居、寄宿舎⑨文部省委託保管美術品⑩書道講習会と石橋厚水⑪夏季洋画講習会

第四節 昭和二十四年 103

①学事抜粹②職員その他③本校最後の職員顔触れ④最後の校長村田良策⑤卒業式⑥各科学徒級別現員表⑦卒業

第五節 昭和二十五年 111

①学事抜粹②職員その他③卒業式④級別各科人員表⑤小場恒吉の日本芸術院恩賜賞受賞

第六節 昭和二十六年 116

①学事抜粹②職員その他③卒業④追加卒業⑤級別各科人員表

第七節 昭和二十七年 119

①廃校・最後の卒業式②卒業③級別各科人員表④職員その他

第五章 校友会活動……………二二三

東京美術学校敷地建物略図 上野恩賜公園平面図……………二二六

附 表……………二二九

- ①経費②資金③備品価格④土地⑤建物⑥教官
- ・事務官人員⑦嘱託員⑧雇員・傭人⑨生徒⑩
- 外国人生徒⑪生徒卒業後の状況⑫奨学寄付金
- ⑬卒業式における成績優等者への授賞⑭東京
- 美術学校・同校友会出版物⑮在職者一覧⑯職
- 員任免一覧

索引

